

山の街まちづくり協議会

令和8年度 通常総会

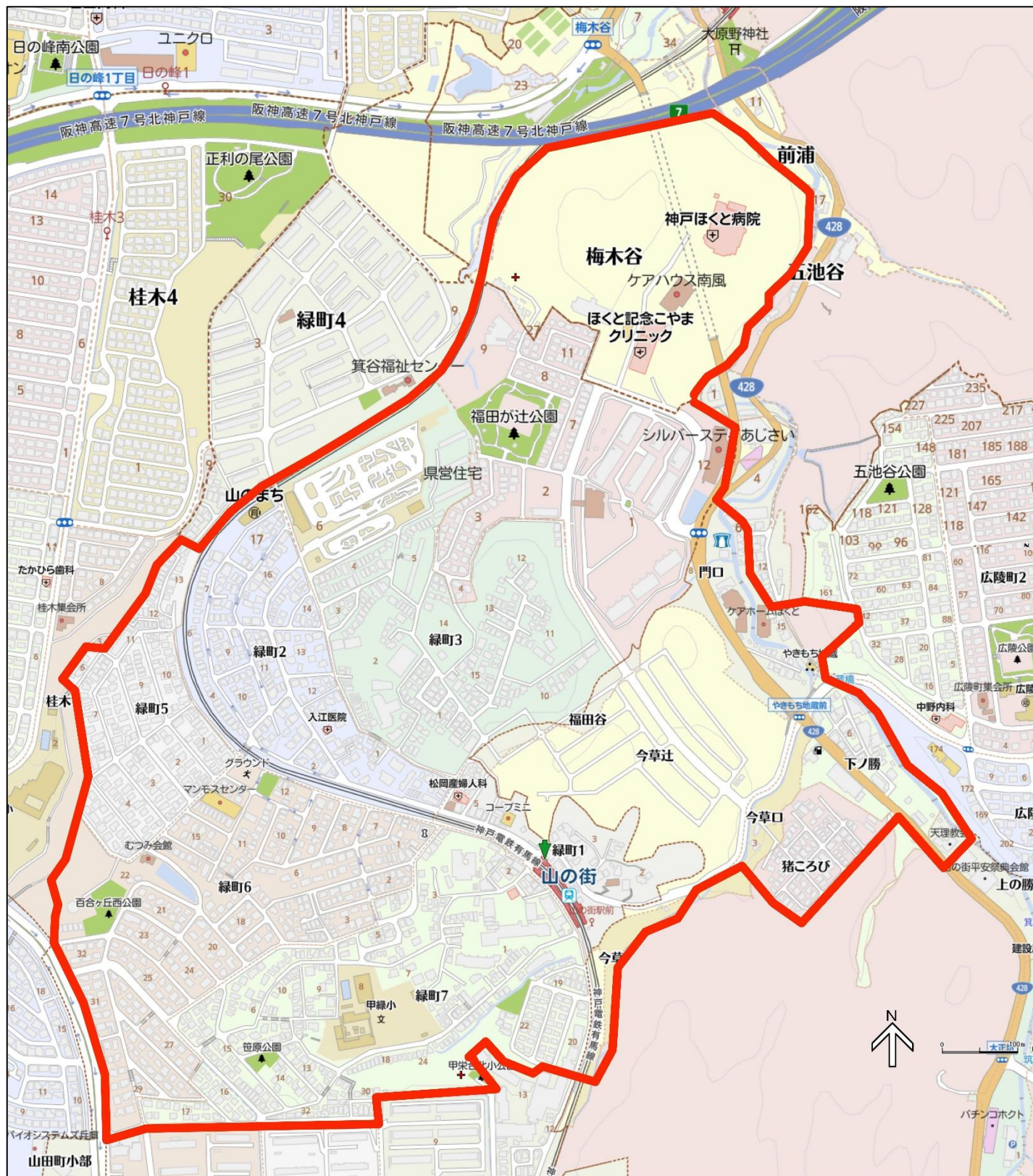
議 案 書

- 第1号議案：令和7年度事業報告（案）
- 第2号議案：令和7年度決算報告（案）
- 第3号議案：令和8年度事業計画（案）
- 第4号議案：令和8年度予算（案）
- 第5号議案：まちづくり構想案の承認

令和8年6月20日

山の街まちづくり協議会

◆山の街まちづくり協議会区域図



第 1 号議案・令和 7 年度事業報告（案）

(1) 令和 7 年度の活動の概要

令和 7 年度は、山の街・まちづくり構想の策定に注力し、3 月にはまちづくり構想（素案）が取りまとめられ、住民アンケートを実施するための準備を進め、アンケート票の印刷も完了し、令和 8 年 4 月以降に配布・回収に取り掛かる体制を整えました。（集計報告は第 5 号議案）

一方、かねてから実証実験を行っていた地域コミュニティバス（やまバス）の運行も本格化し、駅前整備の検討も神戸市の努力によって一定の進捗を見ることができました。

山の街まちづくり協議会の活動（会議等）を整理すると次のとおりとなります。

会議名	回数
定例会（役員会）	10 回
通常総会	1 回
山の街まちづくりニュース発行	1 回
山の街駅周辺再整備検討部会	2 回
やまバス三者会議	2 回
山の街駅開業 91 周年イベント	1 回

・令和 7 年度通常総会（6 月 21 日）



・山の街駅開業 91 周年イベント（3 月 8 日）



（住民約 30 名に加え北区長等行政関係者も参加）

各会議等の日程・内容は次ページのとおりで。

山の街まちづくり協議会・令和7年度活動実績表

日付	名称	内 容
2025 年 4 月 19 日	第 17 回定例会	1. 地域コミュニティーバス三者会議からの報告要旨 2. 令和 6 年度活動歴の報告 3. 令和 6 年度決算報告（R6 年 4 月 1 日～R7 年 3 月 31 日） 4. 令和 7 年度のまちづくり活動の目標と流れ ①令和 7 年度活動の目標 ②活動の流れ 5. まちづくり基本構想 6. 目標とするまちのイメージのキャッチコピー 7. 具体的テーマへの展開 8. 山の街駅 90 周年 9. 地域コミュニティの活性化
5 月 17 日	第 18 回定例会	1. 地域コミュニティーバス三者会議からの報告 ①申込件数の状況 ②実証実験の方向性 2. 地域交通のあり方 3. まちづくり構想検討の進め方 4. 今後のスケジュール調整
5 月 1 9 日	やまバス 三者会議	1. 利用状況 2. 利用地域の拡大
6 月 21 日	令和 7 年度 通常総会	1. 令和 6 年度事業報告 2. 令和 6 年度決算報告 3. 監査報告 4. 令和 7 年度事業計画 5. まちづくりニュース報告 6. まちづくり構想の方向性
7 月 19 日	第 19 回定例会	1. コープミニ山の街の状況 2. 地域コミュニティーバスの検討 3. 地域生活機能の維持 4. まちづくり構想検討
9 月 1 6 日	やまバス 三者会議	1. 利用者数の状況 2. アンケート報告 3. 実証実験の延長と本格運行日程
9 月 20 日	第 20 回定例会	1. まちづくり構想の構成整理 2. 山の街の現状と課題 3. 総会意見の整理 4. コミュニティーバス実証実験 5. 現役世代の意見交換

日付	名称	内 容
10 月 18 日	第 21 回定例会	1. まちづくり構想素案の検討 2. スケジュール修正 3. 構想内容の整理 4. 地域課題の整理
11 月 14 日	駅前部会	1. クランク道路の整備案 ・改札口周辺の歩道幅、踏切拡幅での検討事項、下りホーム改札口 2. 今後の予定
11 月 15 日	第 22 回定例会	3. 駅前再整備（クランク道路等） 4. まちづくり構想修正案 ①現状と課題 ②件口動向 ③住民意識 ④景観整備 3. アンケート調査 4. 若年層誘致 5. コミュニティバス実証実験
12 月 20 日	第 23 回定例会	1. まちづくり構想検討 2. 地域課題整理 3. 今後の進め方
2026 年 1 月 24 日	第 24 回定例会	1. まちづくり構想検討 2. 構想内容整理 3. スケジュール確認
2 月 21 日	第 25 回定例会	1. まちづくりサミット報告 2. まちづくり構想検討 3. 主要決定事項整理 4. 今後の進め方
3 月 8 日	山の街駅開業 91 周年記念イベント・やきもち地蔵で地域発展祈願	
3 月 21 日	第 26 回定例会	1. まちづくり構想素案 2. 構想概要版検討 3. 住民意見整理 4. 今後の進め方
3 月 30 日	駅前部会	神戸市からの検討のたたき台説明 ① 踏切拡幅（A、B 案） ② 下り線改札口新設（A、B 案） ③ クランク道路の改善

第 2 号議案 令和 7 年度収支決算（案）

1. 収入の部

（単位：円）

科 目	金 額	摘 要
神戸市まちづくり助成補助金	300,000	
その他収入①協賛金	20,000	3 自治会 甲緑小学校 PTA @5,000 円
その他収入②寄付	16,070	山の街まちづくり協議会繰越金
収入合計	336,070	

2. 支出の部

（単位：円）

科 目	項 目	金 額	摘 要
【基幹活動】			
会議開催費	会場使用料・資料印刷費等	72,603	会場使用料 8,900 円 資料印刷費 51,430 円 お茶代 円 12,273 円
ニュース等発行費	ニュース等印刷費	15,400	ニュース印刷費(A 3 カラー両面二つ折 3500 部) × 1 回
アンケート調査費	アンケート票印刷費等	11,550	アンケート票印刷費(A 4 カラー両面 3500 部) × 1 回
	アンケート票郵送費	47,300	封筒代 14,300 円、郵送切手代 33,000 円
ホームページ作成運営費	サーバー使用料	13,590	2025 年 4 月～1 年間
	ホームページ管理更新費	121,000	@11,000 円 × 11 回
小計		281,443	
【事務費】			
事務用品費		110	クリアフィル
交通費		1,100	第 5 回駅前再整備検討部会 三宮開催
小計		1,210	
支出合計		282,653	
収支差額		53,417	
R7 補助金清算返金		17,347	補助金返金
補助金清算返金後 収支差額		36,070	繰越金

◎上記決算は令和7年4月1日より令和8年3月31日まで

会計監査の結果、上記のとおりであることを認めます。

令和8年4月29日

会計監査

川 阪 泰 夫 

第 3 号議案 令和8年度事業計画（案）

- 定例会 11回（8月は夏休み）
（うち総会1回※臨時総会開催の可能性あり）
- ニュースの発行 2回程度
- アンケート集計 1回
- 専門部会の開催 4回程度
- その他、HPを活用した広報活動(HPでの議事録公開、アンケートの実施等)等を実施する。
- 「まちづくり構想」を確定させ、神戸市まちづくり条例に基づく「認定協議会」とし、構想に基づく活動を展開
- 特に駅前の再整備、やまバスの維持継続に注力する

令和8年度山の街まちづくり協議会 執行体制

2026.4.18 現在

No	役 職	氏 名	肩 書
1	会長	松岡 謙二	松岡産婦件科クリニック 院長
2	副会長	加藤 直子	百合が丘自治会 会長
3	副会長	山崎 文夫	元山の街郵便局長
4	事務局長	羽田野 求	山ノ街自治会 会長
5	会計	柴田 栄子	山ノ街自治会 副会長
6	幹事	深沢 哲司	百合ヶ丘むつみ会 会長
7	幹事	高尾 ひろ子	百合が丘婦件会 会長
8	幹事	井筒 紳一郎	元兵庫県理事
9	幹事	原田 昇	地元商業者・山の街不動産
10	幹事	佐藤 真希	甲緑小学校 PTA 会長
11	幹事	仁保 太一	(医療)神戸ほくと病院 事務次長
12	幹事	総毛 祐治	雄岡山福祉会 理事長
13	幹事	宮崎 さやか	主任児童委員
14	幹事	大島 真由美	百合が丘自治会
15	会計監査	川阪 泰夫	山ノ街自治会 監査

※ アドバイザー 辻 信一 (株)環境緑地設計研究所

第 4 号議案 令和8年度収支予算（案）

1. 収入の部

（単位：円）

科 目	金 額	摘 要
神戸市まちづくり助成補助金	300,000	
その他収入①協賛金	20,000	3 自治会 PTA
その他収入	36,070	前年度繰越金
合 計	356,070	

2. 支出の部

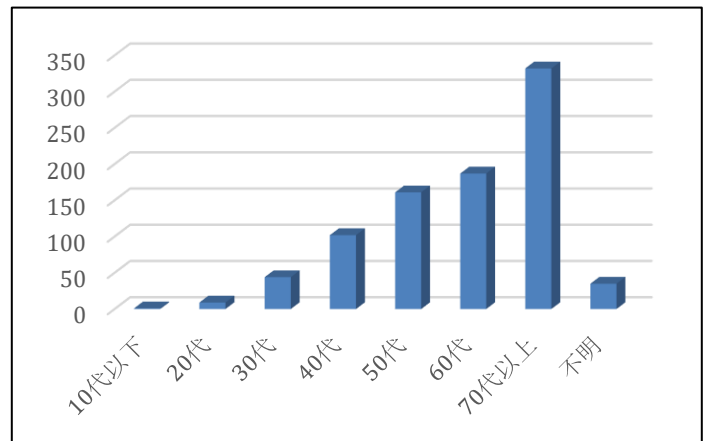
（単位：円）

科 目	金 額	摘 要
【基幹活動】		
会議開催費	60,000	会場使用料、資料印刷費、お茶代
ニュース等発行費	50,000	ニュース印刷費、ニュース郵送費等
○アンケート調査費	50,000	アンケート票印刷費、アンケート票郵送費等
○ホームページ管理運営費	135,000	ホームページ管理運営費、サーバー使用料等
○小計	295,000	
【提案活動】		
小計		
【事務費】		
事務用品等購入費	5,000	コピー用紙、プリンターインク代等
小計	5,000	
合計	300,000	
次年度繰越	56,070	

(3) 回答者の属性

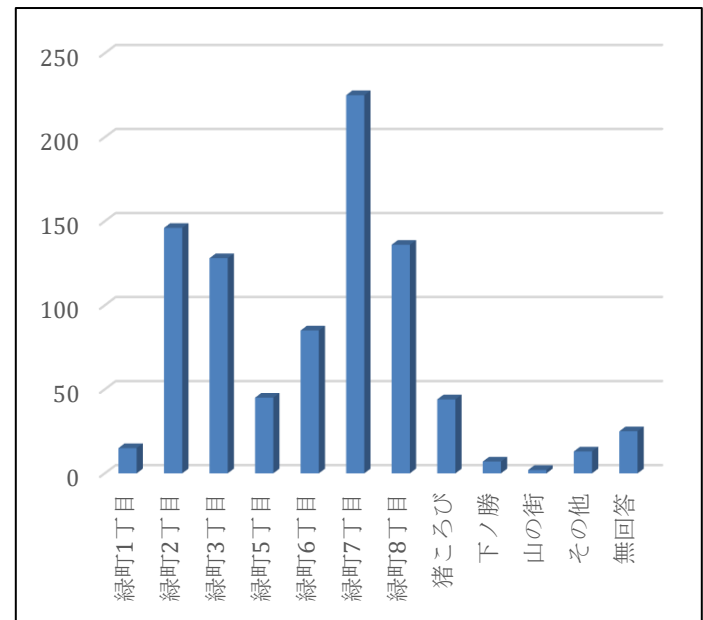
① 年代（高齢者が多い）

年代	件数	比率
10代以下	1	0.1%
20代	9	1.0%
30代	44	5.1%
40代	102	11.7%
50代	161	18.5%
60代	187	21.5%
70代以上	332	38.1%
不明	35	4.0%
合計	871	100.0%



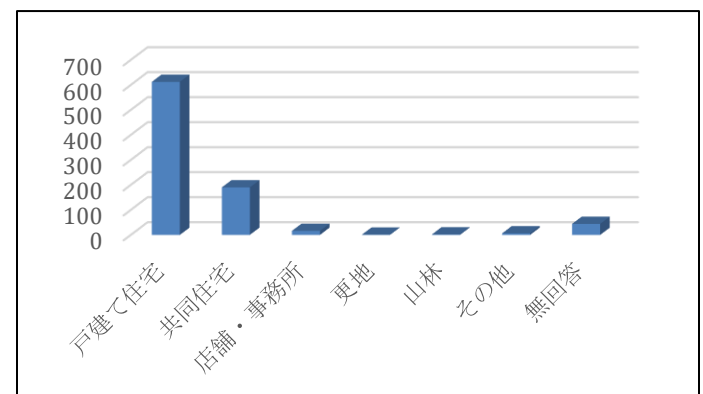
② 住まい（緑町7丁目が最多）

住まい	件数	比率
緑町1丁目	15	1.7%
緑町2丁目	146	16.8%
緑町3丁目	128	14.7%
緑町5丁目	45	5.2%
緑町6丁目	85	9.8%
緑町7丁目	225	25.8%
緑町8丁目	136	15.6%
猪ころび	44	5.1%
下ノ勝	7	0.8%
山の街	2	0.2%
その他	13	1.5%
無回答	25	2.9%
合計	871	100.0%



③ 土地建物（戸建て住宅が多数）

分類	件数	割合
戸建て住宅	612	70.3%
共同住宅	190	21.8%
店舗・事務所	16	1.8%
更地	1	0.1%
山林	2	0.2%
その他	6	0.7%
無回答	44	5.1%
合計	871	100.0%



(4) アンケート結果の概要（回答の集計結果）

◆ 問 01「山の街・まちづくり構想（素案）」「概要版」の内容は、全体として分かりやすかったですか。

「分かりやすかった」は 272 件、31.2%、「おおむね分かった」は 532 件、61.1%で、合わせて 804 件、92.3%でした。概要版を通じて、構想素案の内容はおおむね回答者に伝わっていたと考えられます。

◆ 問 02 構想の考え方に共感できますか。

「とても共感できる」は 358 件、41.1%、「ある程度共感できる」は 470 件、54.0%で、合わせて 828 件、95.1%でした。構想の基本的な考え方については、多くの回答者から共感が示されました。

◆ 問 03 この「山の街・まちづくり構想（素案）」を、今後、地域の正式な「まちづくり構想」として進めていくことについて、どう思いますか。

「この内容で進めてよいと思う」は 649 件、74.5%、「大筋で賛成だが一部見直しが必要」は 117 件、13.4%で、合わせて 766 件、87.9%でした。一方で、理由記入欄には、構想の具体性や進め方、道路・踏切・歩行者安全、買い物・商業・飲食の利便性などに関する意見も寄せられました。

問 03 の理由記入は 68 件で、主な内容は次のとおりです。最も多かったのは「道路・踏切・歩行者安全」15 件、22.1%で、次いで「構想の具体性・進め方」12 件、17.6%、「買い物・商業・飲食の利便性」10 件、14.7%でした。

◆ 問 04「駅前三点セット（道路・交番・駅前整備）」を重点的に取り組むべきとしています、そう思いますか。

「とても重要」は 511 件、58.7%、「重要」は 305 件、35.0%で、合わせて 816 件、93.7%でした。駅前周辺の道路、踏切、歩道、防犯、駅利用環境などについて、重点的な取り組みを求める意見が多く見られました。

問 04 の理由記入は 31 件で、「道路・踏切・歩行者安全」と「防犯・交番・夜間安全」がそれぞれ 6 件、19.4%でした。次いで、「構想の具体性・進め方」「買い物・商業・飲食の利便性」「駅前周辺の活性化・空間整備」がそれぞれ 4 件、12.9%となっています。

◆ 問 05 次の中で、特に優先して取り組むべきだと思うものは何ですか。（複数回答）

各世代を通じて、「駅前や道路の安全対策」「防犯」「買い物など生活の利便性向上」への関心が高くなっています。また、「子どもの居場所・子育て環境」や「高齢者の移動のしやすさ」については、年代によって回答傾向に違いが見られます。

◆ 問 06「これからも山の街に住み続けたい」と思いますか。

「そう思う」は 410 件、47.1%、「どちらかといえばそう思う」は 347 件、39.8%で、合わせて 757 件、86.9%でした。山の街に住み続けたいという意向は多く見られますが、そのためには、安全性、利便性、移動しやすさなどの生活環境を維持・向上させていくことが重要です。

◆ 問 07 ご意見・ご要望があればお書きください。(自由記入)

自由記入欄には 260 件の記入がありました。内容を分類すると、最も多かったのは「駅前周辺整備・交通安全(道路・踏切・歩道等)」106 件、40.8%で、駅前クランク道路、踏切、歩道の狭さ、路上駐車、車両速度、夜間の暗さなどに関する意見が多く寄せられました。

次いで、「買い物・商業・飲食の利便性」が 50 件、19.2%で、ミニコープの存続、スーパー・コンビニ・飲食店など、日常生活を支える店舗への要望が見られました。

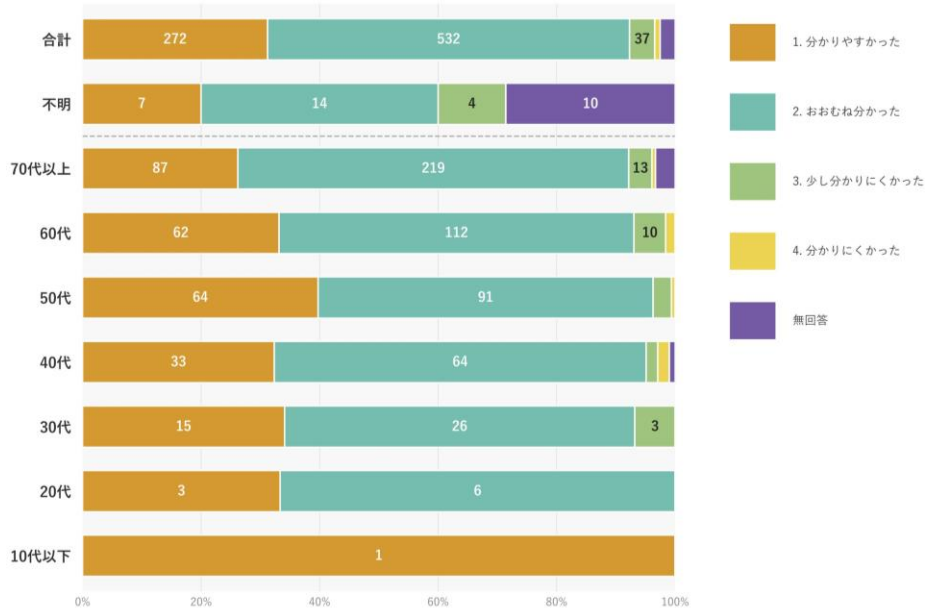
その他、「構想の進め方・感謝」26 件、10.0%、「駅舎・改札・ホーム改善」17 件、6.5%、「高齢者の移動・坂・公共交通」14 件、5.4%などの意見がありました。自由記入では、構想への期待とともに、具体化に向けた説明、優先順位、実現方法についての意見も寄せられています。

(5) まちづくり構想の承認について

- アンケートの集計結果から、「山の街まちづくり構想(素案)」については、回答者の多くに内容が理解され、構想の考え方についても高い共感が示されました。
- また、構想素案を今後、地域の正式な「まちづくり構想」として進めていくことについても、「この内容で進めてよいと思う」「大筋で賛成だが一部見直しが必要」を合わせて多数の賛同が得られました。
- 一方で、自由記入や理由記入では、構想の具体性、今後の進め方、駅前周辺整備、道路・踏切・歩道の安全性、買い物・生活利便性、防犯、公共交通などについて、さまざまな意見や要望も寄せられました。これらは、構想そのものを否定するものというよりも、今後の具体化にあたって十分に検討すべき課題として受け止める必要があります。
- したがって、本協議会としては、アンケート結果を踏まえ、「山の街まちづくり構想(素案)」を基本としつつ、寄せられた意見を今後の協議会活動や具体的な取り組みの中で丁寧に反映していく必要があることを確認します。
- 以上の経過とアンケート結果を踏まえ、「山の街まちづくり構想(素案)」を、地域の正式な「山の街まちづくり構想」として承認することを提案します。
- なお、今後アンケートの回収をさらに進め地域の理解度を確かめるとともに、多様な意見の収集に努め、構想内容に重大な変更の必要があれば臨時総会に再度はかります。
- また、本構想を山の街まちづくり協議会の今後の活動の基本として位置づけ、神戸市まちづくり条例に基づく認定協議会への移行を進めるとともに、構想に掲げた取り組みを行政・事業者・地域の協働で段階的に具体化していきます。

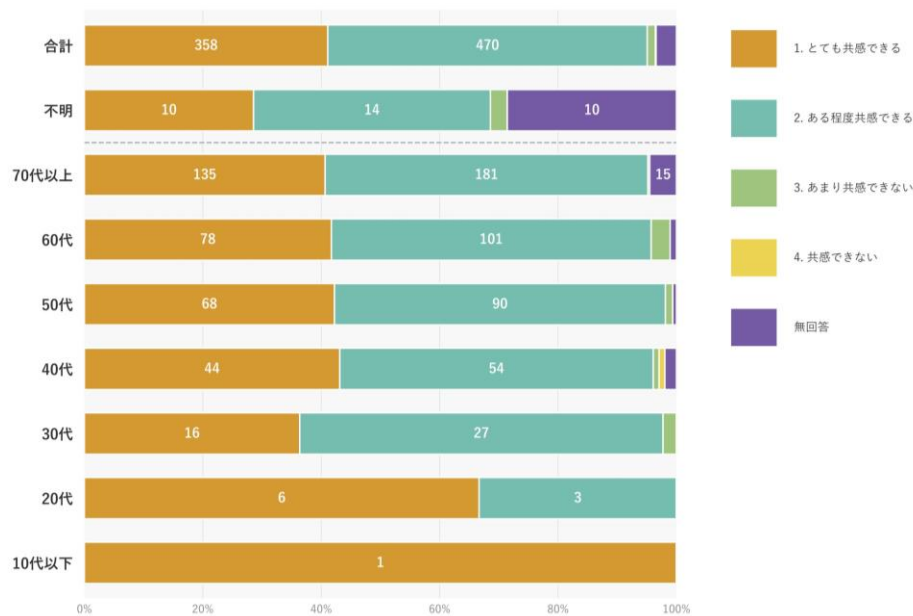
(6) 回答の集計結果

- ◆ 問〇１ 「山の街・まちづくり構想（素案）」「概要版」の内容は、全体として分かりやすかったですか。



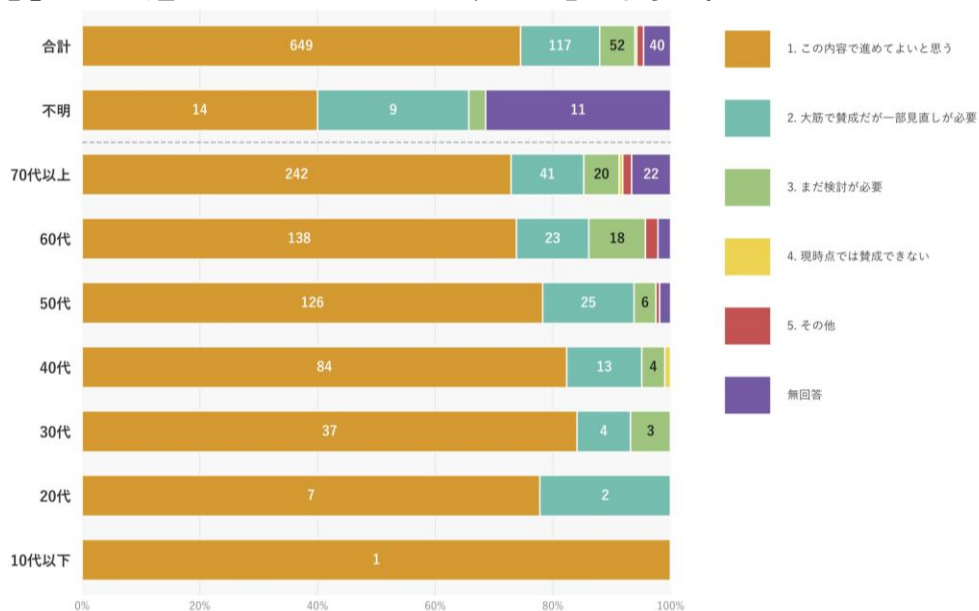
- 「分かりやすかった（272 件、31.2%）」「おおむね分かった（532 件、61.1%）」で 804 件（92.3%） となり、構想素案を読んだ方の多くに理解が得られていると考えます。

- ◆ 問〇２ 構想の考え方に共感できますか。



- 「構想素案」の考え方への共感率は「とても共感できる」358 件、41.1%、「ある程度共感できる」470 件 54.0%、合計 828 件、95.1%と高いものがあります。

- ◆ 問〇3 この「山の街・まちづくり構想（素案）」を、今後、地域の正式な「まちづくり構想」として進めていくことについて、どう思いますか。



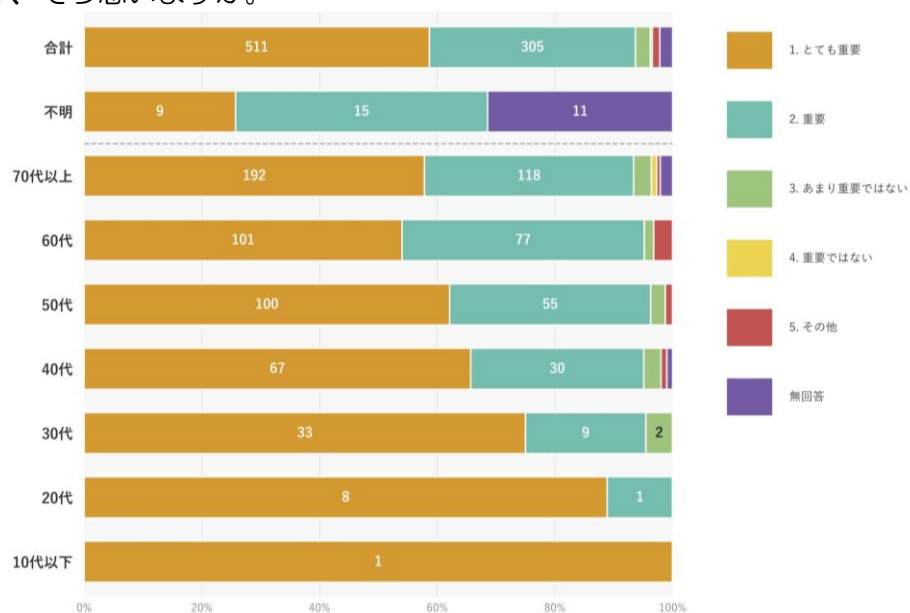
- ・「この内容で進めてよいと思う」649件、74.5%、「大筋で賛成だが一部見直しが必要」117件、13.4%、合計 766件、87.9%と高い支持を受けています。

問〇3 3,4回答の理由

分類	件数	割合
道路・踏切・歩行者安全	15	22.1%
構想の具体性・進め方	12	17.6%
買い物・商業・飲食の利便性	10	14.7%
駅前周辺の活性化・空間整備	5	7.4%
防犯・交番・夜間安全	1	1.5%
駅舎・改札・ホーム改善	3	4.4%
景観・自然・住環境・美化	6	8.8%
住民参加・地域コミュニティ	5	7.4%
分からない・判断保留	2	2.9%
高齢者・坂道・移動支援	3	4.4%
不明・記載不十分	3	4.4%
子育て・子どもの環境	3	4.4%
合 計	68	100.0%

(全体 871 件の 7.8%)

◆ 問〇４ 「駅前三点セット（道路・交番・駅前整備）」を重点的に取り組むべきとしています
が、そう思いますか。



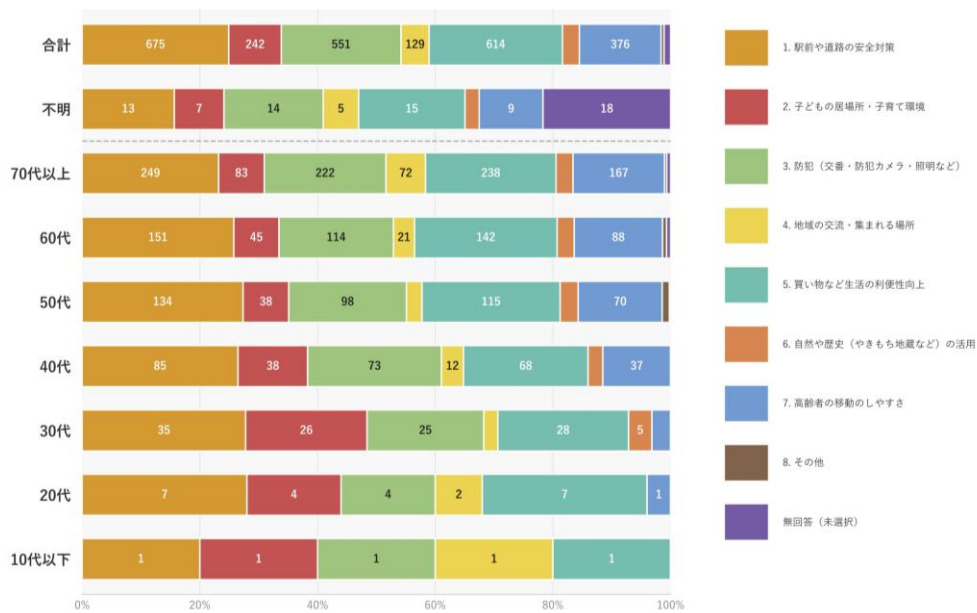
- ・「とても重要」511件 58.7%、「重要」305件、35.0%、合計 816件、93.7%と高い支持率を示しています。

問〇４ 3, 4 回答の理由

分類	件数	割合
道路・踏切・歩行者安全	6	19.4%
構想の具体性・進め方	4	12.9%
買い物・商業・飲食の利便性	4	12.9%
駅前周辺の活性化・空間整備	4	12.9%
防犯・交番・夜間安全	6	19.4%
駅舎・改札・ホーム改善	3	9.7%
分からない・判断保留	2	6.5%
高齢者・坂道・移動支援	1	3.2%
不明・記載不十分	1	3.2%
合 計	31	100.0%

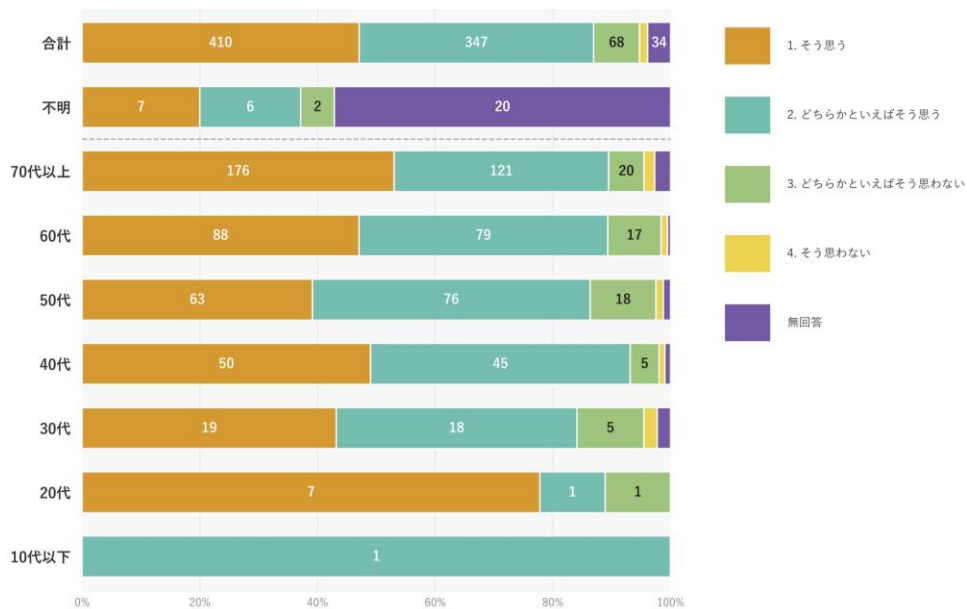
（全体 871 の 3.6%）

◆ 問〇五 次の中で、特に優先して取り組むべきだと思うは？（複数可）。



- 各世代を通じて「駅前や道路の安全対策」「防犯」「利便性」に対する優先順位の高さが確認できます。
- 「子どもの居場所・子育て環境」「高齢者の移動のしやすさ」への要望は、該当する年代によって差が見られます。

◆ 問〇六 「これからも山の街に住み続けたい」と思いますか。



- 「そう思う」410件、47.1%、「どちらかといえばそう思う」347件 39.8%、合計757件、86.9%と高い継続居住意向が読み取れます。

◆ 問〇七 ご意見・ご要望があればお書きください（自由記入）

全回答中 260 に記入がありました。これを意見の内容で分類整理して整理しました。

最も多い意見分類は、駅前クラック道路、踏切、歩道の狭さ、路上駐車、スピード車両などの駅前周辺整備に関する事項です。次に、ミニコープ存続、スーパー・コンビニ・飲食店などの買い物・商業利便が続きます。

分 類	件数	割合	概 要
駅前周辺整備・交通安全 (道路・踏切・歩道等)	106	40.8%	駅前クラック道路、踏切、歩道の狭さ、路上駐車、スピード車両、横断歩道・カーブミラー、夜間の暗さなど、駅前と駅周辺の安全性・利便性を一体的に改善してほしいという意見。駅前３点セットの早期推進や駅周辺整備への期待も含む。
買い物・商業・ 飲食の利便性	50	19.2%	ミニコープ存続、スーパー・コンビニ・飲食店・パン屋・100均など日常生活を支える店舗への要望。車が使えなくなった後の生活不安と結びつき、駅前商業の再生を望む声が目立つ。
構想の進め方・感謝	26	10.0%	協議会への感謝、早期実現、優先順位、タイムスケジュール提示、具体的な図面や進捗周知、住民意見の反映など、構想推進方法に関する意見。
駅舎・改札・ ホーム改善	17	6.5%	下りホーム側・谷上・三田方面への改札新設、駅舎改修、ホーム屋根延長、ベンチ・改札機増設など、神鉄山の街駅の利便性・安全性向上を求める意見。レトロな雰囲気を残す提案もある。
高齢者の移動・坂・ 公共交通	14	5.4%	坂が多く、免許返納後や車のない世帯の買い物・通院・外出が難しくなることへの不安。コミュニティバス、ミニバス、移動スーパー、市バス路線などの導入・充実を求める。
空き家・空き地・ 景観環境・管理	12	4.6%	空き家・空き店舗・空き地、雑草・樹木・不法投棄、市営住宅や公園安全、自然・景観保全に関する意見。管理不全が治安・美観・防災不安につながっている。
件口減少・活性化・ まちの魅力	11	4.2%	高齢化・件口減少・寂れ感への危機感、若年層流入、駅前のにぎわい回復、山の街らしさ・トカイナカ的魅力を活かした活性化への期待。
防犯・交番・ 夜間照明	9	3.5%	交番再設置、防犯カメラ、街灯・照明増設への要望。夜道の暗さ、空き地・空き家、駅周辺や公園での不安感などが背景にある。
子育て・若年層・ 子どもの居場所	8	3.1%	子育て世代・若い世代が住みたくなる環境づくり、児童館・図書館・自習室・屋内遊び場・体育館等の居場所、安全な通学・遊び場整備への要望。
交流・地域拠点・ 自治会	7	2.7%	多世代交流、自治会館・地域福祉センターの活用、地域のシンボル施設やイベント、住民同士が集まれる場所への期待。
合 計	260	100.0%	

＜参考＞アンケート回答の取り扱い（案）

- 全体として「山の街まちづくり構想素案」に対する支持は高いことが分かりましたが、問 03 と問 04 でのご意見への対応を次のように考えます。

問 03 での意見を整理すると下表のとおりとなります。

分類	意見の要旨	考え方
構想の具体性・進め方	構想の内容に全く共感できない。	何が問題か聞き取りたい
景観・自然・住環境・美化	計画を優先することで、今の静かで住みやすい街の雰囲気損なわれそう。	構想→計画→実施と段階を踏んで取り組むことの必要性をご理解いただきたい
	発想は理解するが、実際に歩いている実感から、成功はしないと思う。	頑張りましょう
構想の具体性・進め方	構想をどう実現するのかが全く分からず、構想を作ること自体が目的になっている印象がある。	構想→計画→実施と段階を踏んで取り組むことの必要性をご理解いただきたい
	方向性と目標が多様化しすぎて、うまくいかないと思う。	頑張りましょう
道路・踏切・歩行者安全	良い事ばかり言い過ぎている。不便な事もある。	不便を解消するための考えを整理しています
	駅だけが立派になっても、道路や医療・買い物環境が伴わなければ、住みたい町にはならない。	そのとおりです。全体の環境を向上させたいものです
	交通量が増えるような案件は反対。	交通安全の考え方について議論しましょう
	山の街駅下り線側の道路改善・拡張は、沿道家屋が多く、現実感が乏しい。	具体的な課題についての検討が必要である認識を持っています
買い物・商業・飲食の利便性	新しい賑わいづくりに多額の費用がかかり、既存店舗の閉店につながるのではないかと。	費用の負担と既存店舗の継続性についての議論が必要ですね

問〇４での意見を整理すると下表のとおりとなります。

分類	意見の要旨	考え方
駅舎・改札・ホーム改善	駅舎の建て替えは不要。下りホームへの自動改札設置を優先すべき。	神戸市・神戸電鉄・まちづくり協議会での協議で全体の方向を検討していきます
構想の具体性・進め方	駅前周辺の改善について、具体的にどのように可能なのか分かりにくい。	これから具体的な計画案を検討します
	もっと実生活に関わるところからやってほしい。	具体的な項目を相談しましょう
道路・踏切・歩行者安全	狭い駅周辺住宅地で一部改修程度では、将来的に使い勝手に支障が出る。	可能な区域の中で、できる限りのことを検討するのみです
	駅だけが立派になっても、この町に住みたいとは思えない。道路・医療・スーパーの充実が必要。	多くの「にぎわい」に対するご希望の一つと認識します
	交番と駅前整備は必要だが、道路整備により車の横行が増え、静かな日常に悪影響が出ないか心配。	交通安全と走路整備の関係を勉強しましょう
買い物・商業・飲食の利便性	コンビニは、たまり場所になるのでやめてもらいたい。	生活利便性と相反する事象との天秤についての議論が必要ですね
防犯・交番・夜間安全	交番を建設しても警官がほとんどいないなら、交番より防犯カメラ増設に費用を使う方がよい。	
	交番は不要。	